

# 雑 報

## 定例研究報告会の開催 (昭和62年7月～9月)

| 〈回〉 | 〈年月日〉      | 〈報 告 題 名〉                               | 〈報告者〉                        |
|-----|------------|---|------------------------------|
| 7   | 昭62. 7. 1  | 多次元安定人口理論について(Ⅱ)半群アプローチ……………            | 稲葉 寿技官                       |
|     | "          | 高齢人口の移動について……………                        | 内野 澄子技官                      |
| 8   | 昭62. 7. 15 | 年齢からみた都道府県別死亡……………                      | 金子 武治技官                      |
| 9   | 昭62. 9. 30 | 国際応用システム分析研究所(IIASA)1987年YSSP参加報告……………  | 廣嶋 清志技官                      |
|     | "          | 昭和60年男女別労働力生命表について……………                 | 石川 晃技官                       |
|     | "          | わが国世帯数の将来推計:昭和60年～100年(昭和62年10月推計)…………… | 河野稠果技官外<br>世帯推計プロジェ<br>クトチーム |

## 資 料 の 刊 行 (昭和62年7月～9月)

○Annual Report of the Institute of Population Problems  
with Selected Demographic Indicators, 1986 (August 1987)

## 日本統計学会第55回大会

日本統計学会(会長:中村隆英 お茶の水女子大学教授)の昭和62年度(第55回)総会および研究報告会は、7月27日(月)から29日(水)までの3日間にわたり、南山大学(名古屋市昭和区)において開催された。

本年度の研究報告会も、報告数が100題を超えるほどの盛りだくさんのプログラムが編成されたが、共通テーマとしては、労働市場の統計的分析、統計制度と統計の国際比較、情報量規準の展開と現象解析、統計データ解析とエキスパートシステムの接点、中部圏における経済観測と統計分析および統計学における大規模計算と最適化法の6題が設定され、各報告と質疑・討論が活発に行なわれた。

本年度は、人口に関する部会はとくに設けられなかったが、人口統計・コウホート分析などに関連した報告はかなりあり、それらを列挙してみると次のとおりである(プログラム順)。

|                                     |               |
|-------------------------------------|---------------|
| J. GrauntとJ. P. Süßmilchの比較的研究…………… | 飯淵 康雄(琉球大・医)  |
| 労働流動性の統計的分析……………                    | 今井 英彦(流通経大・経) |
| 人口センサスの英米比較……………                    | 鈴木 武(法政大・経営)  |
| 西ドイツの統計調査環境—1987年国勢調査の実査(5月25日実施)   |               |
| をめぐって……………                          | 浜砂 敬郎(九州大・経)  |
| 年齢・時代・世代効果の分離—ベイズ型コウホートモデル—……………    | 中村 隆(統計数理研)   |
| 中年死亡増加現象と生命表……………                   | 大久保正一(日大・人口研) |
| 日英米3ヶ国における自殺のコウホート分析……………           | 内藤 雅子(東京大・医)  |
|                                     | 根岸 龍雄( " )    |
| 日英米3ヶ国における他殺のコウホート分析……………           | 根岸 龍雄(東京大・医)  |
|                                     | 本田 靖( " )     |